



2階子供部屋。床と天井は杉材、梁上部の隠し扉から建物の高さまで尺を握り、夏の風気を促す。

2階個室から中庭を見る。個室は少し明るさを抑えた落ち着いた空間。

2階廊下。収納に備えて前後で違う車線を設置。各扉扉は中央に開き、ドアのわきに「壁」が窓の「壁」が窓が空間を包み込む。



外観少量。4Fの4角柱を入れた外観は窓に背けて風しく、木の厚みを変えた2種類の木材で構成している窓は2Fの外観に変化をもたしている。

## 吹抜けのある家 一空氣の流れる木のおおらかな空間一

### ■2つの窓

夏の風気を考え南面に2層を設置。北の窓は和室と廊下に面した自然光の窓。南は居室に面したガラスブロックの透光的な窓。ガラスブロックの中に厚葉樹を挿入して夏の西日を調整し、季節感を演出する。また、南面の窓は温度差が生じるため自然に風が動く。

### ■2つの吹き抜け

南の吹き抜けは居室と2階の個室をつなぐ。家の高さで風を導き、北の吹き抜けはトップライトの光を1層まで落とし、お部屋の熱気を逃がす。

### ■居室側一枚窓の隙間から光が透ちる

夏の熱気を排除し、建物の奥に光を落とす。

### ■住まいを守る軒の出の軒裏と軒端を隠す裏面

軒先は1000出すことで夏の高い日差しをカットし冬の低い日差しを取り入れる。

### ■高い壁高—2階床の厚みとあわわしの壁

壁高を高くすることで壁に対して暑しく、内部の吹き抜けを切り換えてあらわしにすることで暖いことに対する圧迫感をなくす空間を合理的に作る。

### ■白と厚みを変えた2種類の木材を使った木の壁

木の壁の厚みと色を変えることにより、100×100・100×140の2種の外観に変化をつける。

壁のコーナーはガラスの縁が建物の縁を指すように足元を浮かせている。

### ■滑きこまれた木のすずり

サンダーローラーで磨きこまれた木のすずりは手触りが良く、滑し易い。



和室より食卓・個室を見る。右手は実用土間。窓際の明るさに対して、白壁・食卓の天井は和と洋風のあらしとし程高の柱を入られた落ち着いた空間。



### ■外観

4Fに木を木まで届くまで伸びて、住宅の7Fを打ちはた木を飾る。熱線を遮断させることで内部に冷気を取りこもっている。